

横田、「児童虐待防止月間」を宣言 *Yokota proclaims Child Abuse Prevention Month*

April 10, 2024

By Airman 1st Class Jarrett Smith
374th Airlift Wing Public Affairs

4月2日、横田基地で第374空輸航空団司令官アンドリュー・ラダン大佐と同団最先任上級曹長ジェリー・ダン最上級曹長が「児童虐待防止月間」の宣言書に署名した。4月は、「軍人の子ども月間」及び「児童虐待防止月間」に定められている。「児童虐待防止月間」は、軍人の子どもたちが安全で明るく希望に満ちた未来を過ごせるよう、チーム横田のメンバーが一丸となって虐待やネグレクトを防止し、虐待を受けた子を支え、すべての子どもたちが安全な環境で成長できるよう、コミュニティーの強い絆を築くものである。

(写真1)横田基地で「児童虐待防止月間」の宣言書に署名する第374空輸航空団司令官アンドリュー・ラダン大佐と同団最先任上級曹長ジェリー・ダン最上級曹長。今年の「軍人の子ども月間」のテーマは、児童虐待防止。軍人の子どもたちが安全で明るく希望に満ちた未来を過ごせるよう、一丸となって取り組む決意が込められている。



(写真2)「児童虐待防止月間宣言」署名式で、記念撮影をする第374空輸航空団幹部とコミュニティー支援調整官たち。

「軍人の子ども月間」は、軍人の家族が経験する忘れられがちな困難を明るみにし、労意図がある。軍人の子どもたちは、頻繁な引越などで、常に新しい学校や環境に適應することを余儀なくされている。



(写真3)横田基地で行われた「児童虐待防止月間宣言」署名式で、風車を手にとる(左から)第374経理部会計財務予算分析監督官レイモンド・バレロ上級空兵、同財務業務技術官ノエル・ロス空兵、同財務業務監督官ナサニエル・ガラザ上級空兵。

「Pinwheels for Prevention (児童虐待)防止の風ぐるま」は児童虐待防止のための全米運動で、すべての子どもが享受すべき幸せな幼少期を示している。風ぐるまは、子どもたちを守り、育むことの大切さ及び介入支援することで問題を予防できることを振り返るためのシンボルである。

